

令和5年度 第1回山陽小野田市地域公共交通会議 議事録

令和5年6月2日（金）

1 協議事項

発言者	発言要旨
◆令和4年度山陽小野田市地域公共交通会議決算について	
会長	事務局から説明いただいた。御質問や御意見をお願いしたい。
会長	質問がないようであれば、令和4年度決算を承認とさせていただく。
◆地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について	
会長	事務局から説明いただいた。御質問や御意見をお願いしたい。
会長	<p>デマンド型交通は公共交通なので、ある程度の需要のまとまりに対応するものである。あらゆる個別需要に応えるのは難しい。ライフスタイルの変化を踏まえ、引き続き利用しやすい公共交通を検討する必要がある。</p> <p>資料2参考資料②にあるとおり、「とまり号」は、上り・下りで利用件数に乖離がある。柳井市の事例では、上下便にここまでの乖離はない。同じ場所での乗降ではなく、スーパー、病院と回遊している。とまり号は、目的地間で距離があり同様の移動ができず、待ち時間の有効活用ができていないのではないかと。通院も帰りの時間を見込むのが難しい。スーパーでの待合環境の整備など、目的地で待つことができれば、下り便の利用が拡大するかもしれない。</p>
委員	朝は8時便からの運行だが、通勤、通学の利用者が困ることはないか。
事務局	タクシー会社のドライバー不足という問題もあり、現状以上の早朝の対応は難しい。
会長	<p>事務局で利用者アンケートを実施されており良い取組と思う。できれば地元で支えていただく意識を醸成できればと思う。需要の掘り起こしは、行政だけでは難しい。地域と一体となって取り組む必要がある。</p> <p>本件について、令和6年度計画案として承認し、国に提出することとしてよろしいか。</p> <p>(拍手)</p> <p>ありがとうございます。承認とさせていただく。</p>

2 報告事項

発言者	発言要旨
◆地域公共交通計画関係事業の進捗について	
・厚狭高校通学便の新設について	

会 長	事務局から説明いただいた。御質問や御意見をお願いしたい。
委 員	先ほど説明いただいたルートその他、2ルートを検討していたと思うが、現ルートになった経緯を教えて欲しい。 通学便の新設により学生の利便性が向上するとともに良い取組と評価している。色々と認可等手続きがあるが、よく調整のうえ提出をお願いする。
事務局	運行ルートについて説明する。委員御指摘のとおり、当初3ルートを検討していたが、警察や地元自治会、高校との協議において、他2ルートは歩行者専用道路(7:30~8:30)を通過する必要があり、危険性を払拭できないとの結論を得たことから、小中学生の安全面に配慮し、現ルートで運行するよう船木鉄道と調整を行った。
委 員	生徒に寄り添った施策を推進していただき、大変嬉しく感じている。運行に向けた準備を着実に進めてほしい。今後、一層生徒の利便性が高まるよう、引き続き努力して欲しい。 厚狭エリアは、医療機関、スーパー、教育施設等が集積している。通学便の新設により、埴生、厚陽の方にとっても利便性が高まると思うので、地域の皆様に御利用いただけるようにしっかりPRして欲しい。
会 長	高校のニーズをよく聞いて、それに即した形で運行して欲しい。
◆地域公共交通計画関係事業の進捗について	
・船鉄バス(公園通~理科大前間)の増便について	
会 長	市のまちづくりに係る施策の一環である。事務局からも説明があったが、JR小野田線との関係も重要になる。鉄道、バス双方の利用により、学生の通学利便性が向上することを期待する。
◆地域公共交通活性化再生法の改正について	
委 員	地域公共交通の再構築という全国的な課題を正面から受け止めて、市で地域公共交通計画を取りまとめていただいた。鉄道・バスともに厳しい利用状況にあるが、JR西日本としては、法律の趣旨に則って、地域の皆様と協議しながら、持続可能な地域公共交通についてともに勉強していきたいと考えている。
会 長	法改正については、昨年度から国で議論がなされ、適宜情報発信もなされてきた。今回の法改正により、鉄道とバスの距離感が縮まり、ハード整備に係る補助制度も整ったところ。 地元としては、今回の法改正を小野田線、美祢線にどのような形で生かすの がいいのか、鉄道だけでなく、バスとどのように連携していくのか、複数市に跨る近隣市との流動にどう対応していくのか等色々な視点がある。いつかどこかで議論しなければならないと考えている。
委 員	現在、国土交通省本省でも補助制度等準備を進めている。細かい要綱等は

	これからとなるが、決定され次第随時情報提供させていただく。
会 長	大変に大きな話である。今後協議会で議論していくこととなると思う。

3 その他

発言者	発言要旨
会 長	その他、各委員から御意見、御質問等あるか。
委 員	<p>①利用者の一人として、バス事業者に改善していただきたい点がある。まず停留所について。先日、市内のバス停を巡って写真撮影など行った。停留所名の表示が古いもの、消えているもの、またバスポール自体が腐食しているもの等老朽化が進んでいる。バス停名が昔の地名のままになっているところもある。特に小野田駅から南方面が深刻である。「市民病院入口」バス停は郵便局前にあり、市民病院からは距離がある。別の名称に改めるべきである。</p> <p>②バスポールは、事業者ごとに設置するのではなく、一本化した方が良いのではないか。</p> <p>③小野田駅駅前広場のバス停について、行先別に再配置をお願いしたい。事業者で改善して使いやすいものにして欲しい。</p> <p>④デマンド型交通の将来は自動運転になると思っている。国はレベル4自動運転を2025年までに50か所整備するとしている。分かりやすい、利用しやすいものとなるよう期待する。</p>
会 長	<p>①② 停留所表示に対する御指摘である。バス事業者各社で受け止めて、必要な改善を図っていただきたい。</p> <p>③ バス停の行先別の統一は、宇部新川駅で事例がある。各社の停車便数が問題となるが、調整が可能なら小野田駅でも実現していただきたい。</p> <p>④ 自動運転は県内でも事例がある。ドア・ツー・ドアではなく定時・定路線タイプの方が向いているようだ。実証実験で終わるのではなく、実装に向けた取組が求められる。</p>
委 員	<p>①デマンド型交通は地域住民の移動の最後の砦。殿様号、姫様号は市民病院への乗り入れができないか。闇雲な路線延長はダメだが、デマンドは鉄道や路線バスを補完する交通手段である。路線や運行回数、運行時間の拡充などニーズに沿った対応が必要である。</p> <p>②地域住民の意見を聞くことが重要である。自治会長、ふるさと協議会を巻き込んで、デマンドの応援者になっていただく必要がある。</p> <p>③小野田線から厚狭駅へ乗入することはできないか。</p> <p>④美祢線について、自転車を折りたたまず車内に持ち込めるようにして欲しい。自転車を立てて載せられるようにできるよう、列車内を整備して欲</p>

	しい。私鉄では既に導入している。美祢線でもチャレンジして欲しい。
会 長	<p>小野田線から厚狭駅への乗入は、船木鉄道のバスも並走しており（小野田駅～厚狭駅間）、J R山陽線の運行への支障が懸念されるなど制約も多いのではないかと思います。</p> <p>殿様号、姫様号は、利用登録していても実際に利用していない方が多い。今の利用状況のままではデマンドの維持が難しくなることを地域住民の方々に御理解いただく必要がある。地元の方でもできることがあれば御協力いただきたい。</p>
会 長	その他、意見等はないか。ないようであればこれで閉会としたい。

閉会